

# 2023（令和5）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会  
みどりの森 自立訓練

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するためお互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）基本方針

#### ①安定した生活リズムを整えられる日中活動の機会を提供し、本人が希望する地域生活を送れるように支援する。

・個々の状態に合わせて通所時間や通所頻度を設定し、出来るだけ休まず通所できるよう支援している。これにより他事業所との並行利用が可能になり、自立訓練利用前は長期引きこもり生活だった利用者が毎日出席できるようになり、また欠席が続いていた利用者が週3日程度出席できるようになった。個々のニーズや希望を丹念にヒアリングし、それに見合うプログラム提供を行うことで通所意欲を向上・継続させることができ、安定した日中活動の機会と場を提供できた。

#### ②地域の方と円滑な関係を築き、交流を深める。

・バザーの実施や地域の行事（スポーツ大会、フリーマーケット、Tボール大会、地域祭りなど）に出席し、関係構築の機会を得ることが出来た。

#### ③日中活動など個別のニーズに即した次のステージでの継続利用ができるよう支援する。

・本人や家族の希望に即し、個々の障害特性・精神状態も考慮し次のステージを見据えた個別支援計画を作成し、それに則って支援を進めた。今年度は利用期間満期を迎えた利用者が5名いたが、利用終了の半年前から面談やカンファレンスを本人、家族と関係支援機関や市役所と行い、同時並行で該当者へは他事業所の見学や実習の機会を提供すべく手配・同行を実施。2名は希望する移行先へ行くことができ、他2名は自立訓練の延長利用を実現することができた。残り1名は、本人が心不全を患うなど不調があり自立訓練利用終了後は通所サービスの利用を一時休止することとなったが、本人と家族が地域で孤立することがないように市役所障害支援課と計画相談事業所と綿密に連携及び引継ぎをし、本人が再度活動できるようになった際の支援の枠組みをつくることができた。

#### ④利用者の人権を守り、主体的で健康的な生活が送れるよう、個々のニーズに基づいた個別支

援計画を作成し、適切かつ効果的なサービスを提供する。

- ・ 3か月ごとに個別支援計画を作成して実施した。

(3) 中期目標（令和4年度～6年度）

①事業を安定して運営し地域での自立訓練の役割を果たせるよう、継続した利用者の確保に努める。

- ・ 自立訓練事業周知のためのパンフレットを活用し、他支援機関や他事業所へ訪問の際は持参し事業の周知に努めた。現在の利用者を担当している計画相談事業所やその他事業所から問い合わせや見学を受けたが、今年度は利用へとつながるケースはなかった。

②多機能型の特性を活かした運営手段を確立する。

- ・ B型から作業を提供してもらい、該当の利用者へ作業プログラムや外作業を提供することが出来た。自立訓練で実施したプログラムの内容によって、B型の利用者にも参加してもらうことが出来た。来年度も継続して行っていく。

## 2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 9名（利用者数6名）
- (3) 利用期間 2年間（所定要件により延長を認められた場合、1年の延長が可能）
- (4) 開所年月 令和3年12月1日
- (5) 施設規模
- |      |                             |
|------|-----------------------------|
| 敷地面積 | 539.34㎡                     |
| 延床面積 | 280.54㎡（専有39.84㎡ 共有141.25㎡） |
| 建物構造 | 木造1階建て                      |
| 賃貸区分 | （土地）民間より賃貸 （建物）民間より賃貸       |

## 3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

| 職 種                | 配置人数   |
|--------------------|--------|
| 管理者                | 1名（兼任） |
| サービス管理責任者          | 1名（兼任） |
| 支援員（常勤職員）          | 1名     |
| 保育士（常勤職員）          | 0名     |
| 調理員（常勤職員）          | 0名     |
| 事務員（非常勤職員）         | 1名 ※   |
| 支援員（非常勤職員）         | 2名 ※   |
| 保育士（非常勤職員）         | 0名     |
| 調理員（非常勤職員）         | 3名 ※   |
| 看護師（非常勤職員）         | 0名     |
| 理学療法士（非常勤職員）（6回／年） | 1名（兼任） |
| 作業療法士（非常勤職員）       | 0名     |
| 合 計                | 9名     |

※非常勤職員についてはB型と兼務

(2) 嘱託

|       |        |        |
|-------|--------|--------|
| 医師    | (2回/年) | 1名(兼任) |
| 看護師   | (0回/年) | 0名     |
| 作業療法士 | (0回/月) | 0名     |
| 合計    |        | 1名     |

4. 利用者状況

(1) 障害程度

|        | 1      | 2  | 3  | 4  | 未定 | 合計 |
|--------|--------|----|----|----|----|----|
| 愛の手帳   | 0名     | 2名 | 3名 | 1名 | 0名 | 6名 |
| 身障手帳   | 1名(重複) |    |    |    |    | 1名 |
| 精神保健手帳 | 0名     |    |    |    |    | 0名 |

※身障手帳、精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 39.2歳)

|    | 19歳以下 | 20~29歳 | 30~39歳 | 40~49歳 | 50~59歳 | 60歳以上 | 合計 |
|----|-------|--------|--------|--------|--------|-------|----|
| 男  | 0名    | 1名     | 1名     | 1名     | 1名     | 0名    | 4名 |
| 女  | 0名    | 0名     | 0名     | 1名     | 0名     | 1名    | 2名 |
| 合計 | 0名    | 1名     | 1名     | 2名     | 1名     | 1名    | 6名 |

最低年齢 男…25歳 女…43歳 最高年齢 男…52歳 女…62歳

平均年齢 男…37.8歳 女…52.5歳

(3) 担当福祉事務所

|      |  |    |
|------|--|----|
| 東村山市 |  | 合計 |
| 6名   |  | 6名 |

(4) 障害程度区分

| 区分 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 未定 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 人数 | 0名 | 1名 | 2名 | 2名 | 0名 | 0名 | 1名 | 6名 |

(5) 利用状況

|         | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 合計    |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 入所者     | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     |
| 退所者     | 0    | 1    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 1    | 1    | 1    | 0    | 1    | 5     |
| 月末数     | 11   | 10   | 10   | 10   | 10   | 10   | 10   | 9    | 8    | 7    | 7    | 6    | 108   |
| 延べ日数    | 242  | 230  | 220  | 230  | 230  | 220  | 230  | 198  | 184  | 161  | 147  | 138  | 2,430 |
| 延べ人数    | 149  | 134  | 139  | 140  | 140  | 147  | 130  | 122  | 96   | 101  | 87   | 65   | 1,450 |
| 出席率(定員) | 75.3 | 64.7 | 70.2 | 67.6 | 67.6 | 74.2 | 62.8 | 61.6 | 46.4 | 48.8 | 46.0 | 31.4 | 59.7  |
| 出勤率(現員) | 61.6 | 58.3 | 63.2 | 60.9 | 60.9 | 66.8 | 56.5 | 61.6 | 52.2 | 62.7 | 59.2 | 47.1 | 59.2  |

5. 日課

(1) 月～金曜日

| 時間 | 内容 |
|----|----|
|----|----|

|             |           |
|-------------|-----------|
| 8:00～       | 送迎開始・出勤   |
| 8:30～ 9:10  | 朝礼・健康状態確認 |
| 9:10～11:45  | プログラム     |
| 11:45～13:00 | 昼食・休憩     |
| 13:00～15:35 | プログラム     |
| 15:35～15:50 | 清掃・終礼     |
| 15:50～      | 送迎・帰宅     |

(2) 土曜日

|             |           |
|-------------|-----------|
| 8:00～       | 送迎開始・出勤   |
| 8:30～ 9:10  | 朝礼・健康状態確認 |
| 9:10～11:45  | プログラム     |
| 11:45～13:00 | 昼食・休憩     |
| 13:00～15:00 | プログラム     |
| 15:00～      | 終礼・送迎・帰宅  |

## 6. 重点目標

(1) 安定した利用状況の実現

- ①利用者・家族のニーズに基づく個別支援計画を立案・実施できるよう、プログラム内容の充実を図る。事業所が開始され1年が経過するが、利用者のニーズが多様化しており、また、障害の程度も、事業開始前に想定していたより重い方が通所されていることもあり、現在行っている芸術プログラムやコミュニケーションプログラム（レクリエーションなど）などが、障害の程度に関わらず楽しんで意欲的に取り組めるものにするべく、必要なものづくりやレクリエーションの材料・道具を購入し、内容の充実を図る。
  - ・個々の利用者の希望やニーズを丁寧にヒアリングし、また個々の障害程度を考慮し、それらを反省させた材料・道具の購入を行うことが出来た。これにより利用者により意欲的にプログラムに参加してもらうことが出来た。
- ②利用者が通所・訪問の利用形態を選択できることや希望する利用者への送迎を活用しながら、継続的な利用が出来るよう支援する。
  - ・個々の希望や状況に合わせて通所時間や頻度を設定。それを個別支援計画に反映し支援を行った。希望通所時間に合わせるため送迎時間の調整や利用者の状況によっては家庭訪問の実施も行った。
- ③精神科病院に通院している利用者や慢性疾患で通院している利用者の医療機関や関係機関担当者との連携を図り、必要に応じて通院同行などを行いながら、状態に応じた支援を行う。
  - ・慢性疾患等で通院を行っている利用者については通院同行を行っているグループホームの担当者と密に連携し、本人の健康状態の把握に努めた。今年度は精神科病院との連携が必要となる場面はなかったが、計画相談担当者とともに通院状況や服薬の確認、精神面での変化を日々確認し必要な支援を行った。
- ④多機能型の特性を活かし、利用者の障害特性、また状況に応じてB型のプログラム（室内・外作業）に参加することで、自己選択をする機会を提供できる体制を整える。
  - ・個々のニーズや利用終了後の進路に合わせて、B型の室内作業を提供してもらい作業プロ

グラムの実施やB型の外作業への参加をした。また生活力プログラム、音楽プログラム、芸術プログラムなどにB型の利用者が参加してもらうなど、個々の希望やニーズに合わせて多機能型のメリット活かしたプログラム提供を行うことが出来た。来年度も引き続き実施していく。

⑤職員配置を流動化することで職員の意識やスキルアップを図る。

- ・自立訓練に勤務している非常勤職員2名は就労継続B型での勤務を兼務しており、両方の事業を担ってもらい意識やスキルアップを図ってもらうことができた。

⑥契約終了後に利用者が希望する場を円滑に利用できるよう、行政や計画相談事業所等支援機関と連携を取りながら、見学、実習など体験の場を提供する。

- ・利用期間満期で終了する利用者に対し計画相談担当者やグループホーム担当者、市役所障害支援課と密に連携し、必要によっては他事業所の見学にも同行してもらい、本人と家族の希望に沿って見学や実習の手配・同行を実施。該当者4名を次のステップに繋げ、他1名も通所サービスは本人の疾病の状態により一時休止となっているが、地域での必要なサポート体制をつくることができた。

## (2) 健康・衛生

①感染症予防対策として、日常的に利用者、職員の健康状態を把握し、衛生的な環境整備の徹底を図る。

- ・毎日の検温や消毒の実施、必要箇所への消毒液の設置など感染予防対策を取れる環境整備を行い、また利用者と職員の日々の健康状況の把握を徹底した。

②月に一度運動プログラムを実施し、Tボールやポッチャなど身体を動かすことで基礎体力の強化や心身の安定に繋げる。

- ・運動プログラムは毎月の実施とはいってなかったが実施することができ、クラブ活動等でのポッチャの実施、Tボール大会への参加も実施することができた。

③個別支援計画に基づき、希望や必要のある利用者に対しては理学療法士による個々のプログラムの実施し、身体機能の維持向上を図る。

- ・利用者の個々の希望やニーズにあわせて理学療法士に診てもらい、教えてもらったストレッチや軽運動を毎日のプログラムに反映することができた。

④定期健康診断・歯科健診・インフルエンザワクチン接種・毎月の体重血圧測定その他、婦人科健診を行い、利用者の健康状態を把握し、家庭等との情報共有を行い、必要に応じて適切な医療機関へ繋げる。

- ・全て実施することができ（インフルエンザワクチンは家族の事情や本人の希望により未接種の利用者あり）、必要によって他の医療機関での受診状況や検査結果も含め家族等と情報共有を行った。

## (3) 活動内容

①利用者一人一人と向き合い寄り添いながら、個別支援計画に基づき、個々の状況に合わせたプログラム内容と場面提供を行う。

- ・3か月ごとに個別支援計画のモニタリングと作成を実施。本人と家族の希望や意向に沿って計画の目標を作り、またそれが実行できるよう必要な場合は利用者ひとり一人に合わせた個別プログラムを全体で行うプログラムとは別に立案・実施した。来年度もニーズに合うプログラムが提供できるよう充実を図る。

## ②プログラム種目

| プログラム種目   | 内 容  |
|-----------|--|
| 作業        | DM封入・雑誌付録等の解体・資源回収   |
| 芸術        | もの作り、手芸、段ボール織物、作画、ビーズ工作など様々な創作活動                                   |
| リラクゼーション  | リラックスできる音楽を聴きながらストレッチ、軽運動、ウォーキング、お茶会など                             |
| コミュニケーション | ボードゲーム、カードゲーム、軽運動などの様々なレクリエーション                                    |
| 生活力       | 日常の様々な生活スキル（生活リズム、食生活、セルフケア、買い物、外出、服装、金銭管理、すまいなど）をグループワークや実践を通して学ぶ |
| 音楽        | カラオケ・ハンドベル   |

・上記のプログラムから内容を利用者自ら選択し実施することができた。

※その他、個別支援計画に基づき必要に応じて個別プログラムを実施。

・生活スキルの練習（洗濯、買い物、食器洗いなど）を実施した。

③上記の作業プログラムの種目は、みどりの森B型事業所の種目から選定する。

・実施することができた。

④企業就労希望者には、計画相談や就労支援室等関係機関と連携を取りながら、働く練習のための地域での実習体験や、就労移行支援事業所等、他の就労支援サービスの見学・体験など、個々の希望する進路に進んでいけるよう細やかな支援を行う。

・今年度この項目に該当する利用者はいなかった。

## (4) 給食

①利用者の健康状態に基づき、可能な限り個別の希望に応じた献立を提供する。

・選択メニューの実施など行うことができていた。

②栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

|    | 熱量      | 蛋白質   | 炭水化物   | 脂肪    | カルシウム | ビタミンB1 | ビタミンB2 | ビタミンC  |
|----|---------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 計画 | 804Kcal | 29 g  | 127.8g | 23.8g | 258mg | 0.47mg | 0.53mg | 38mg   |
| 実績 | 598Kcal | 22.9g | 84.8g  | 19.8g | 115mg | 0.36mg | 0.29mg | 37.5mg |

## (5) 行事

①クラブ活動（隔月実施）※B型と合同

| 種 目     | 主な活動場所   |
|---------|--|
| 物づくり    | みどりの森作業室<br>→多様な題材を提供し、利用者が楽しんで取り組むことができた。                   |
| ポッチャ    | みどりの森作業室<br>→様々な対戦形式を実施した。年々上達しているため、次年度は他事業所と合同で行える機会を作りたい。 |
| 買い物・カフェ | イオンモール・イトーヨーカドーなど<br>→それぞれの要望に応えられるよう努め、事故なく楽しく過ごせた。         |

②年間行事予定 ※B型と合同

| 日付           | 内容                    | 場所                         | 目的   | 人数  |
|--------------|-----------------------|----------------------------|--|-----|
| 6/12, 19, 26 | 防災体験                  | 立川防災館                      | 煙・地震・消火を体験する事により利用者、職員共に防災意識の向上を図る。  | 29名 |
| 8/5          | 猿田彦神社夏祭り              | 猿田彦神社                      | 野口町自治会行事に参加し、地域の方々と交流することで事業所の理解を深め、良好な関係を築いていく。                             | 40名 |
| 8/10         | 暑気払い                  | みどりの森                      | ソラスト保育園を招待し一緒に参加していただき交流し、親交を深めみどりの森の利用者や施設について知ってもらう。                       | 4名  |
| 8/27         | 諏訪神社例大祭山車曳き           | 諏訪町内                       | 諏訪町自治会に参加し地域の方々と交流を深め、良好な関係を築いていく。また、迫力のある山車曳きに参加することで、祭りの熱気を直に感じ祭りの雰囲気を楽しむ。 | 28名 |
| 9/2          | 東京都・東村山市合同総合防災訓練      | 東村山市立第7中学校                 | 行政や地域住民と連携し、災害時を想定した訓練に参加することで防災への意識を高める。                                    | 23名 |
| 9/24         | てんしゃばフェスタ2023         | 東村山駅西口駅前                   | 野口町の発展として開催されるイベントに地域の一員として参加し、出店を通して地域の方々と交流しながら施設を知っていただき福祉への理解を広める。       | 28名 |
| 10/22        | 諏訪スポーツ祭り              | 化成小学校                      | 地域に根差す活動と運動不足解消を目的とし、楽しみながら参加することで障害理解及び施設を知っていただく機会とする。                     | 24名 |
| 10/29        | 白十字八国山フリーマーケット        | 白十字ホーム                     | 諏訪町行事に参加し、地域の方々と交流を深め良好な関係を築いていく。また大勢の前でバンドを披露することで音楽の楽しさを伝え会場のみならず共有する。     | 26名 |
| 11/3         | 運動会                   | 八坂小学校                      | 法人全体で行うことで交流と一体感を持つ。身体を動かす楽しさを味わう。   | 25名 |
| 11/15        | グループ別外出「ドラえもんミュージアム①」 | 藤子・F・不二雄ミュージアム             | 事前にお土産や食事を選択することで期待感をもって臨むとともに、非日常の体験を通し各々の目標を達成する。                          | 6名  |
| 11/20        | グループ別外出「ドラえもんミュージアム②」 | 藤子・F・不二雄ミュージアム             | 事前にお土産や食事を選択することで期待感をもって臨むとともに、非日常の体験を通し各々の目標を達成する。                          | 6名  |
| 11/22        | グループ別外出「川越散策」         | 本川越周辺                      | 歴史ある街を散策し、情緒を楽しむ。  | 3名  |
| 11/28        | バスハイク 山梨方面            | 富士サファリパーク・山中湖              | 利用者の希望により檻の中にはない動物を見て、船に乗る体験を行う。行事を通してそれぞれが自らの責任を持ち集団で行動する。                  | 38名 |
| 12/3         | Tボール大会                | 化成小学校                      | Tボールを通して身体を動かす楽しさを実感すると共にお世話になった諏訪町地域の方々と交流を図る。                              | 26名 |
| 12/6         | グループ別外出「ドラえもんミュージアム③」 | 藤子・F・不二雄ミュージアム             | 事前にお土産や食事を選択することで期待感をもって臨むとともに、非日常の体験を通し各々の目標を達成する。                          | 7名  |
| 12/24        | クリスマス会                | みどりの森                      | クリスマスの音楽・ゲーム・食事を通してクリスマスを楽しむ。会場設営から利用者が関わり、利用者主体の行事とする。                      | 36名 |
| 1/15         | 成人を祝う会                | 中央公民館                      | 人生の節目を祝う。  | 23名 |
| 1/17         | グループ別外出「コカ・コーラ工場①」    | コカ・コーラボトラーズジャパン多摩工場・吉祥寺アトレ | 身近なものがどのようにできているかを見て興味を持ち、生活をより彩のあるものにする。                                    | 6名  |
| 1/22         | グループ別外出「コカ・コーラ工場②」    | コカ・コーラボトラーズジャパン多摩工場・府中くるる  | 身近なものがどのようにできているかを見て興味を持ち、生活をより彩のあるものにする。                                    | 6名  |
| 1/27         | 施設祭り                  | みどりの森                      | 近隣・地域の方と交流し相互理解を深める。バザー品を販売し工賃に反映する。作業体験を通して施設の活動を周知する。                      | 33名 |
| 3/22         | 納会                    | みどりの森                      | 1年間を振り返り、利用者に向けた事を表現してもらう場とする。   | 38名 |

※グループ別外出（日帰り）1人1回

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。
  - ・実施することができた。
- ②事業継続計画（BCP）ガイドラインの見直しと法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また、定期的に会議を開催する。
  - ・研修の実施には至らなかったが、それ以外は実施ができていた。
- ③市、関係機関などと協力し機能を果たせる準備を整える。
  - ・今年度実施された東京都・東村山市合同総合防災訓練に参加し、避難場所や方法、協力体制など防災の理解し知識を得ることができた。

## （2）リスクマネジメント

- ①事故対応マニュアルを施設内・車両に常備し、緊急時に対応できるようにしておく。
  - ・マニュアルの常備を実施。毎朝、アルコール検知器の使用とともに運転者の体調確認を行い、また車両の状況確認も実施をした。
- ②運転者は乗車前に毎日アルコール感知器を使用し酒気帯び確認記録表を記入し運転者の状態を確認するとともに、運転者は毎日乗車前に車両の状態も確認する。
  - ・徹底することができた。
- ③構造化された安全な環境作りのため、常に整理整頓を実施、定期的な大掃除を行う。
  - ・日掃除と整理整頓を行い、安全と衛生に配慮した環境作りを行った。大掃除も実施した。

## 8. 地域との交流

- （1）野口町自治会や諏訪町自治会の行事に参加するとともに、バザーや施設祭、スポーツ活動を通じて交流を行う。また近隣の保育園と連携し交流できる機会を設ける。
  - ・今年度は、各自治会の行事や定期的なバザーの開催、スポーツ祭りやTボール大会の出席、暑気払いやクリスマス行事を通して近隣保育園との連携や交流をすることができた。自立訓練の利用者も参加人数は限られていたが、全ての行事に出席することができた。
- （2）挨拶、清掃活動、除草、回収作業など積極的に行ない、日常的な関係を充実させる。
  - ・就労継続B型で行っている清掃活動や回収作業に、自立訓練の利用者が毎週参加することができ地域との関係を持つことができた。また、職員と利用者ともに外出時に地域の方への日常的な挨拶を心がけ、関係の充実に努めた。

## 9. 実習生の受け入れ

- （1）希望があれば特別支援学校・在学者の受け入れを行ない将来の進路選択につながる機会を提供する。
  - ・今年度は自立訓練への該当者はいなかった。
- （2）大学、専門学校などから実習を受け入れ、福祉職員の養成の一端を担うとともに、人材確保の機会とする。
  - ・今年度は自立訓練への該当者はいなかった。

## 10. 保護者会との連携

- （1）支援の充実を図るため、家族との情報交換を密に行う。
  - ・個々の状況に合わせて、本人の家族やグループホーム担当者などと密に情報交換を行い、利



用者の情報共有を行った。利用満期で他の福祉サービスの利用をする利用者に対しては、本人と家族等の希望や意向のヒアリングとアセスメントを行い、それに沿って移行の手続きを進めた。来年度も他の福祉サービスへ移行を予定する利用者に対しては同様に細やかに対応を行っていく。

- (2) 事業所の活動への理解を深めるため、定期的に保護者会を行う。
  - ・就労継続B型と自立訓練合わせての保護者会を毎月実施。年度初めの保護者会には、自立訓練利用者の保護者やグループホーム担当者に出席してもらったことができたが、それ以降今年度出席はなかった。
- (3) みどりの森便りを月1回発行し、活動状況を発信する。
  - ・みどりの森だよりを毎月発行することができた。また、多くの月で自立訓練の様子を写真付きで紹介し、活動の様子を伝えることが出来た。
- (4) 家族が参加できる行事を行い、交流の場とする。
  - ・今年度も運動会や成人を祝う会を実施することができ、参加してもらえた利用者家族もあった。来年度も感染状況を踏まえつつ、家族が参加できる機会を設けていきたいと思っている。

## 1.1. 職員研修

- (1) 福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得する。
  - ・常勤1名が人権研修や支援力向上のために認知行動療法の研修を受けることができた。
- (2) 研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行う。
  - ・4月に実施した合同職員会議で、法人の方針や各事業所の事業内容・事業方針について情報交換を行うことができた。また、今年度は2事業所に分かれてではあったが対面での会議ができ、職員の交流会の場を設けることができた。
- (3) 法人全体で定期的に行う交通安全講習会に参加し、安全運転に対する意識を高める。
  - ・安全運転講習会は8月に実施し、多くの職員が出席できたが、講習会後も法人内のいくつかの事業所で事故が起きてしまっていた。

| 研修名             | 実施日   | 主催                 | 実施場所              | 参加者  |
|-----------------|-------|--------------------|-------------------|------|
| 社会福祉事業従事者人権研修 I | 8/29  | 東京都福祉保健局生活福祉部地域福祉課 | みどりの森相談室 (Web 研修) | 菊地仁恵 |
| 全体職員研修          | 10/5  | 社会福祉法人山鳩会          | ひなたの道             | 全員   |
| 不眠症に対する認知行動療法研修 | 10/20 | 国立精神・神経医療研究センター    | 国立精神・神経医療研究センター   | 菊地仁恵 |

## 1.2. 会議

| 種 目         | 回 数  | 内 容   |
|-------------|------|---|
| 職員会議        | 1回/月 | ・毎月の会議に出席し、自立訓練の利用者の様子や活動について情報共有を行った。          |
| 評価・アセスメント会議 | 2回/年 | ・自立訓練では担当職員1名が全利用者の3か月毎にモニタリングと個別支援計画見直しを行っている。 |

|       |      |  |
|-------|------|--|
| 給食会議  | 1回／月 | メニューの要望、振り返り<br>・隔月で実施したが、内容と話し合いが反映されておらずトラブルが多かった。   |
| ケース会議 | 3回／月 | 利用者個々の課題について<br>・非常勤職員の勤務時間の都合により自立訓練でケース会議を実施することはできないため、毎朝の打ち合わせ時や合間時間を活用し、利用者の必要な情報共有や支援方針についての確認を日々実施している。 |

### 13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

#### (1) 苦情解決

- ①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。
  - ・苦情などの訴えはなかったため対応したケースはなかった。
- ②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。
  - ・利用者との契約書や重要事項説明書に内容を明記し、契約時に説明を徹底し周知に努めている。

#### (2) 個人情報保護

- 個人情報保護規定に基づき、個人の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。
- ・データの管理方法や記録の取り方を職員間で共有し、安全に取り扱うことを徹底した。

#### (3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

- ①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。
  - ・担当者を配置し委員会への参加など、必要な支援体制の整備を行った。
- ②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的で開催する。
  - ・虐待防止委員会などで検討する機会が設けられていた。
- ③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。
  - ・10月に実施した合同職員会議で障害者支援や虐待防止に関する講義を聴講する機会を提供し、多くの職員が参加することが出来た。当日欠席だった職員は、東京都から無料で提供されている虐待防止に関する研修動画を視聴し理解を深めた。

#### (4) セクシャルハラスメント防止

- 担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止・対応にあたる。
- ・担当職員を配置し、必要な体制整備を行った。

#### 苦情解決

|       | 氏名    | 連絡先          |
|-------|-------|--------------|
| 責任者   | 加藤 貴子 | 042-395-3210 |
| 担当者   | 菊地 仁恵 | 同上           |
| 第三者委員 | 赤木ふき子 | 同上           |

セクシャルハラスメント

|         | 氏名    | 連絡先          |
|---------|-------|--------------|
| 責任者     | 加藤 貴子 | 042-395-3210 |
| 担当者（男性） | 瀬沼 未来 | 同上           |
| 担当者（女性） | 白水 楓子 | 同上           |

虐待防止・身体拘束の適正化

|     | 氏名    | 連絡先          |
|-----|-------|--------------|
| 責任者 | 加藤 貴子 | 042-395-3210 |
| 担当者 | 佐伯 哲也 | 同上           |